

(調査様式1)

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 23年 7月9日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4674000130
法人名	医療法人 杏政会
事業所名	グループホーム つる
所在地	鹿児島県薩摩郡さつま町鶴田2693 0996-59-2000
自己評価作成日	平成23年5月31日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	
-------------	--

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成23年6月29日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

開設以来、10年目を迎えるホームである。平均年齢が90歳を超えており健康の不安を抱えておられるが、病院併設の利点を活かし、健康管理をおこない、24時間何時でも、緊急時の対応が取れ、ご本人ご家族に安心を与えている。

入居者の方たちと、けんかをしたり、泣き笑いを繰り返しながら、日々格闘中。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- さつま町の中心部に位置し、隣接する母体医療機関と十分な連携が図られているグループホームであり、周囲は田園が広がる、利用者にとってはなじみ深く落ち着いた雰囲気でも過ごせる場所である。
- 管理者や職員は、利用者の思いや意見を日常会話で、ご家族とは訪問時や家族会を通じて要望や意見の把握に努めている。それらは「個人録」に記録・検討し、上司への報告と共に、速やかにケアに反映するように努め、改善の経過や結果は本人や家族に確実に、そして速やかに報告して利用者や家族に安心を与える取組みを行っている。
- 管理者と職員の連携も十分に図られ、職員の意見や提案は十分に意見交換され、業務改善やサービスの質向上に反映させている。特に利用者のケアに関しては、日常的な会話で迅速に話し合い、解決に結び付けると共に、必要に応じて利用者・家族に対しても解決策を十分に説明して安心につなげるように努めている。
- 理念にも記載があるように、利用者が明るく安心して、家庭と同じように過ごせるように、毎月細かく項目設定されたチェック表による利用者ごとの身体拘束有無の確認を行い、身体拘束排除への理解を深める取組みを行っている。
- 母体医療機関が隣接しており利用前の受診経過は十分把握・整理され、医療機関との細やかな情報交換に基づいて、利用者の病状に応じた定期的な受診を支援し、緊急時の受診も24時間体制と連携も十分で家族の安心に結びついている。
- 食事に関しては、土・日は利用者の好みを献立に反映し、通常食事前には声掛けに工夫して、利用者に交替で思い思いの挨拶を行ってもらい、食事をゆったりと楽しみながらできるような雰囲気づくりにも努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	入居者の皆さんも含め、理念の唱和を行い、日々の実践に努めている。	地域密着型サービスの意義を職員全員が十分理解して話し合い、従来の理念の見直しを行い独自の理念を作り上げている。昼食及び夕食前に利用者と職員で唱和して理解を深めると共に、具体的なケアにつなげるよう取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	職員が、地域ボランティアの一員としてサロンに出席し、地域の民生員さんと共に、活動行っている。	月1回開催の食事会や機能訓練などの地域公民館サロンに職員と元気な利用者が参加している。日常的に散歩や買い物などに出かける際には地域の人々と挨拶を交わし、法人主催の敬老会や花見にも参加して頂くなど交流の機会が多い。中高生の職場体験学習の受入も行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	湯田原地区のサロン紫陽花にて、認知症の方たちの、理解をしていただけるように、お話しをしたり地域見守り体の一員として、協力を行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	重度化対応に関する要望の希望を踏まえ、検討を行った、又、入居者家族より要望のあった、施設の改修等行っている。	会議は行政の職員・地域住民・民生委員など多くの参加があり、定期的に開催されている。事業所の現況や行事・外部評価結果等の報告や問題点等に関する意見交換が行われ、それによる提案や意見が具体的にサービス向上に反映されている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	入居時の問題点を相談したり、防災設備の充実のために連絡を取り合い、火災通報装置・自動火災報知機の設置に結びついた。	行政の職員には運営推進会議や行事等に参加して頂くと共に、訪問して利用者の現況等の相談について助言・対応して頂くなど、より良い協力関係の構築に努め、サービスの質の向上に取り組んでいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	母体施設が主体となり、身体拘束委員会が有り、身体拘束の勉強会があったり、全職員が、身体拘束の弊害を理解しており「身体拘束0の取り組み」を行っている。	月1回の母体医療機関が主催の「身体拘束廃止委員会」での話し合いや研修と共に、事業所では毎月チェック表による利用者ごとの身体拘束有無を確認し、理解を深める取り組みを行っている。新規の入居者情報は駐在所にも連絡して、見守りや声掛けなどの協力をお願いしている。居室や玄関の施錠は行っておらず、職員は見守りによる安全確保に努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束委員会の中に高齢者虐待問題についても含めて、研修会を実施している。ホーム内でも、ミーティングで、話し合いを持って、言葉遣いや態度に気をつけるようにしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	ホーム内勉強会にて、権利擁護の勉強を実施している。入居者の中にも、利用されている方が、2名おられる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約・退去時は、重要事項説明書にて細かに説明を行っており納得して入退居していただいている。また、昨年は、家族会にて退去の指針の説明も行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会時にご家族からの要望をお聞きしたり、意見箱の設置や、母体病院のソーシャルワーカーに、相談できる体制をとっている。苦情相談は、事務長・代表者にも改善報告を上げており、介護の質を上げるようにしている。	利用者の思いや意見は日常会話で、ご家族とは訪問時や家族会を通じて要望や意見の把握に努めている。それらは「個人録」に記録・検討し、上司への報告と共に、速やかにケアに反映するように努め、改善の経過や結果は本人や家族に報告している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	日々の業務時やミーティング時に問題点の話し合いを持っている。問題点は、報告する事により改善に結びついている。	職員の意見や提案は、月1回のミーティングや年3回以上の食事会で聞き取り、業務改善やサービスの質向上に反映させている。特に利用者のケアに関しては、日常的な会話で迅速に話し合い、解決に結び付けている。必要に応じて利用者に対しても解決策を対話で説明し、協働して家族的な雰囲気作りに努めている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	日頃よりホームに足を運び、勤務状況を把握したり、愚痴を聞いていただいたり働きやすい環境づくりに努めている。ミーティングに出席されたり、問題点を報告する事により、改善につながっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>母体施設が主体となり、研修会が生まれ、職員全員が、勉強できる仕組みをとっており、日々の業務に活かしている。又、院外研修に参加した場合は、ミーティングにて報告を行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>町内外の施設と連絡を取り情報を頂いたり、行事の見学に伺ったりしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に情報を頂き、可能な限り本人・家族を含めて、面談の機会を持っている、又、事前にホームの見学、基本的な説明を行い納得して入所していただいている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	事前面談の時に詳しく伺うようにしている、又入所後もまめに連絡を取るようにしている。最初のうちは、本人・家族とも安心していただけるように、面会を増やしていただけるようにしている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人・家族の思いを聞いたり、情報を集め、何が必要かを考えながら、本人のペースで安心安全に暮らしていただけるようにしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日々生活を共にしていると、入居間・職員との衝突もある。良く話し合い、解決に結びつけるようにしている。お互い遠慮のない関係になっており、おかげさまの関係である。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ホームに入居されても、関係が途絶えないように、連絡をまめに取ったり、行事に参加していただいたり、外出・外泊の働きかけを行ったりしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居者全員とは行かないが、地域のサロンに出かけたり、近くの商店に出かけたりして、知り合いの方とお話しをされたりしている。又、リハビリに行かれたときに顔見知りの方と交流を行っている。	隣接する母体医療機関利用の知人の訪問が頻繁にあると共に、医療機関でのリハビリ時の交流も多く、ゆったりと過ごせるように支援している。本人が希望する馴染みの美容院や商店などへの同行、絵手紙のやり取りの支援等も可能な限り行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者同士、一緒にお茶を飲まれたり、お話しされたりされる事もある又、争いもあるが、職員が間に入り仲を取り持ったり、距離を測りながら援助している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所された方の家族の方が、差し入れを持ち尋ねてくださったり、散髪に来てくださったりしている又、病気が安定し、再度ホームに入所申し込みをしてくださったりする。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の思いは、受け止めている、自宅へ帰りたいとの思いは、叶えてあげる事はできないが、ホームに居場所や楽しみを作る努力はしている。	日常会話を通じて思いや希望の把握に努めると共に、本人が1日をゆったりと過ごせるように職員全員で対応を話し合っている。ご家族にも絵手紙や手芸の材料の持参をお願いするなど、本人の趣味が継続できるような支援も行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に聞き取りを行ったり、一緒に生活をしていく上で得られた情報にて、本人の思いに気付けるようにしている又、趣味の継続が出来るように援助している		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者の状態を見極めて、援助の方針や、方法をみんなで決めている。又、日々変わる認知状態・身体状態に合わせて、本人のペースで生活していただいている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ホームの中に、居場所が出来るようにを考えながら、家族にために連絡をして、情報を頂いたり、協力をお願いしている。ミーティングにて、話し合いを行って、計画を立てている。	介護計画は、本人・家族・担当医・職員等の関係者と話し合い、本人がゆったりと楽しく過ごせるようにを目標にして、利用者本位のものを作成している。また3ヶ月毎に評価・修正を行うと共に、状態の変化にも迅速な話し合いを通じて必要な計画修正を実施している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の状態を共有できるように、記録・連絡を重視している。月1回のミーティングにて話し合いを行っており、改善につなげている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	併設病院のソーシャルワーカーと連携を行ったり、家族の力を借りたり、社会福祉協議会を利用したりして安心して暮らせるようにしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の民生員主催のサロン紫陽花の利用を行ったり、老人アパートの交流会を行ったりしている。又、自宅近くの友人に、家の管理、掃除をお願いしている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期受診・緊急時の受診も行っており、早目の対応が出来るようにしている。又、他科受診の時は、家族と同行して、状態を伝えている。精神科受診で落ちつかれた事例もある。	母体医療機関が隣接しており利用前の受診経過は十分把握・整理されている。かかりつけ医との十分な情報交換に基づいて、利用者の病状に応じた定期的な受診を支援し、緊急時の受診も24時間体制と連携も十分に家族の安心に結びついている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	併設病院の利点を活かし、ホーム内看護師、外来看護師、病棟看護師とも、連携が取れ、24時間何時でも対応出来る態勢が整っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院ソーシャルワーカーを通し入退院の情報を共有できている又、面会に行くなどして、入居者との関係が途絶えないようにしている、医師からの説明も家族と一緒にうかがうことで、今後の予測を立てることができている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	昨年の家族会にて、要望が出て2回の話し合いを持つ事ができた。事業所方針としては、重度化対応は、困難であるため、施設入所申し込みを行っていただいたりして、その場であわてない取り組みを始めている。	重度化や終末期のケアについては、家族会の要望にも対応して事業所方針を確立して文書化し、職員やご家族とも方針を共有している。母体医療機関との連携協力の基で、現在事業所で対応できることを本人・ご家族に説明を行い周知を図っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	法人主体の緊急救命訓練に全員が参加して、知識を深めたり、母体病院と緊急時の対応についての細かな取り決めが有り、安心して生活できている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の防災訓練を始め、災害時のマニュアルを作成しており、7月末には、家族会で災害時の訓練、連絡・連携訓練をおこなうことを計画している。	年2回のうち1回は隣接する母体医療機関と合同で、夜間を含む火災や地震を想定した避難訓練の実施とマニュアルの整備を行っている。地域の消防分団から避難経路の助言も得られるなど、地域との協力体制も図られ、災害時の備蓄も十分な状況である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	日々の業務の中で、お互いに慣れ過ぎて、言葉遣いが乱れている事が有り、ミーティングで話し合いをもち改善している。入居者の方たちから学ばせてもらう事がたくさんある。	利用者の尊厳と権利を守るための基本として、日常のケアに際して本人の誇りやプライバシー確保に十分配慮した声掛けや言葉使いを心掛けている。、ミーティングで繰り返し順守状況を確認し、利用者の人格や感性を大切にケアに努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	時々不穏になったり、感情失禁がある、あるがままの入居者を受け止めるのは、難しいが、家族を巻き込みながら支えていけるようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	大まかな日課は、あるが本人の意向に沿って、援助している。寝たきりや、閉じこもり、孤立しないように、声掛けや誘い出しを行い一人の時間と触れ合いの時間を作れるようにしている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	本人希望の美容院に出かけたり外出時おしゃれをしたりしている又、誕生会にお化粧をすると喜ばれている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	下ごしらえ盛り付けを手伝っていただいたり行事食をつくったりしている。おやつに、お団子、ケーキと一緒に作ったり、希望献立も取り入れている。	土・日は利用者の好みを献立に反映し、日常的には買物や野菜の下ごしらえ、調理、盛り付けなど利用者と一緒にできる事を支援している。食事前には利用者交替で思い思いの挨拶を行ってもらい、食事をゆったりと楽しみながらできるような雰囲気づくりも支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・水分量を把握し、個人の身体状況にあわせて、食事形態好き嫌い等を考慮して対応している。又、時々本人の好きな物を食べていただけるようにしている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床時、食後3回声掛け誘導を行っており、磨けない方に関しては、援助を行っている。又、ウガイの声掛けも行い感染症の予防にも注意している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個別に排泄パターンを理解しており、誘導等行っている。便秘時は、薬を使い不快感を感じないように援助している。夜間は、本人がゆっくり眠れるように、本人希望でオムツをさされている方もいる。	排泄チェック表を活用し、個々のパターンを把握の上で、時間単位で薬の活用や誘導等を行っている。夜間のオムツ使用者はあるものの、できる限り昼間と同様に誘導で対応している。羞恥心や不安への配慮も十分なされ、これらの一連の介助はプランに反映している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事量・水分量を把握し、繊維物を取っていただけるようにしたり、乳製品を取っていただいたり運動を促したりしている。又、薬にて、調整をして、本人が、不快感を持たないようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	本人の体調に合わせて週3回以上入浴が出来るようにしている。汚染時、希望時は、極力入浴できるようにしている。温泉でありとても喜ばれている。	入浴に関する個々の希望は十分把握され、一人ひとりの生活習慣やその時々希望や体調に沿って支援している。温泉でもあり、ゆず風呂やしょうぶ風呂など季節に合わせた対応や入浴忌避者への声掛けの工夫など、入浴が楽しみになるように支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼間の活動量を増やし、なるべく夜間眠れるようにしている。又、夜間眠れない時は、昼寝を促したりして、休息して頂くようにしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お薬手帳や薬のファイルを確認できるようにしている。日頃より個人台帳にて、理解を深められるようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	出来る事出来そうなことを見つけ楽しみながら生活の継続を行ってもらっている。役割があることで本人主体の生活を目指している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	皆さん高齢であり、日常的に外出するのは、難しいが、季節の花見は、毎年全員でかけている。個人的には、散歩、買い物、サロンに出かけられたり、外出・外泊をされたりしている。	日常は近隣の散歩や買い物など、利用者の希望に沿って外出を支援している。地域の公民館のサロンへの参加や家族との外泊など、本人がその人らしい暮らしを保てるように可能な限りの支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>近所のスーパーへ買い物に出かけたりされている。管理できない人には、預金の中から、希望品が揃うにしている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>希望時には、援助をしている。毎月定期的に絵手紙が届く方もいらっしゃる。行事連絡のついでに手紙を書れておられる方もおられる。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ホームの中に季節の花を飾ったり季節の感じられる飾り付けや作品をつくって頂いたりしている。共用空間は、こじんまりとしており、日常の生活感を肌で感じる事が出来、安心感を与えている。</p>	<p>利用者と職員の共同作成による季節感ある絵や貼り絵、合わせて行事の写真などがリビングの壁に飾られると共に、室温や湿度にも配慮がなされ、落ち着いて静かにゆったりと過ごせるように工夫されている。職員は、利用者一人ひとりの感覚や身体状況・生活ペースを大切にしながら、安全に配慮して頻繁に見守りながら、居心地のよい場を整えるように努めている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>リビングでくつろがれたり、気のあった方とお茶を飲まれたりお話しされている姿がある。狭いながらも憩いの場になっている。本人の気持ちに合わせて、お部屋でゆっくりしていただいたりもしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人が落ち着けるように、本人・家族と話し合いながらお部屋作りをお願いしたり、お手伝いしている。	居室のベッドは事業所が準備したものであるが、テレビやぬいぐるみ・家族写真など、馴染みのものが利用者や家族の希望に沿って居心地よく過ごせるように配慮されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	本人の身体状況・認知状態を把握して、事故のないように、見守り声掛けを行っている。又、出来る事には、極力手を出さず、本人にしている。		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない